

まきのほら 教育委員会だより

家庭と地域で子どもを育てる「市民のつどい」を開催します

【日時】平成24年7月28日(土) 9時30分～(開場9時) 【会場】牧之原市相良総合センター「い〜ら」



「わたしの主張2012」作文コンクール 市内応募作品から優秀賞決定 表彰と発表

青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が7月28日に、相良総合センター「い〜ら」で開催されます。

第一部では、中学生の「わたしの主張2012」作文コンクールの入賞者4人の表彰と、それぞれの作文が発表されます。

優秀作品を受賞した生徒を紹介します。



ひまわりのように

長谷川 理穂さん

(御前崎中3年)



私は女子らしくない女子です。それは、日焼けした真つ黒な顔と大食いであること、男子ともよく話をするところからです。でも、男女の違いを意識せず誰にでも平等に接することができるところは長所であると考え方を切り替えてから、自分のことが好きになりました。この性格をいかして、記者になるという夢に向かって前進していきたいです。人に流されず自分を見つめ、良さに気付くことが大切

だと感じます。

高齢社会と私の夢

永田 結美さん

(牧之原中3年)



私は将来介護士になりたいと思います。きっかけは同居のひいおばあちゃんとの体験と『高齢社会』についての授業です。

人は言葉を交わし、関わり合いを持つことで、幸せを感じたり、元気になるのだと考えるようになりました。信頼される介護士になって、おじいちゃん、おばあちゃんたちを笑顔でいっぱいにするのが私の夢です。

200mという選択

藤原 あかねさん

(相良中3年)



中体連の出場種目を決めるにあたり、これまで練習を重ねてきた種目にするのか、陸上部の集大成として出場可能な種目にするのか、悩みました。作文を書くことにより、自分にとって大事なことは、力ためす場にできることだから、その方法として新

しい種目に挑戦してみよう、という決意が固まりました。挫折してもすぐに諦めず、別の方法を探り、新しい道を進む前に進んでいきたいと思っています。

幸せの菜の花を

松下 夢加さん

(榛原中3年)



東日本大震災で自然の恐ろしさを知りました。夏休みに父と一緒に岩手県へボランティアに行き、被災地で復興に向けて黙々と働く人たちから、人間の力の偉大さを強く感じました。私も夢を実現するために、困難に負けないような強い精神力で努力を続けたいと思います。そして、『菜の花プロジェクト』のように、私の夢も開花させたいと思います。

第二部では、記念講演会が行なわれます。

演題

東日本大震災へ

陸前高田市からのメッセージ

講師

陸前高田市立米崎中学校 校長

阿部 重人 氏



榛原地区小学校陸上競技大会が開催されました

7月3日(火)、4日(水)にぐりんぱるで行われ、市内の児童たちが頑張りました!!

- 男子 100m**
 1位 池ヶ谷 透矢(川崎小6)
 5位 ザブラン マチ(細江小6)
 5位 山本 隆規(勝間田小6)
 5位 長江 龍之介(相良小6)
 5位 加藤 陸(川崎小6)
 5位 鈴木 翔也(細江小6)



- 女子 100m**
 3位 増田 彩乃(勝間田小6)
 6位 小笠原 愛奈(地頭方小6)
 7位 大原 想(川崎小6)

市内小学校の入賞者のみを掲載



- 女子 200m**
 1位 松坂 汐理(川崎小6)
 2位 永谷 優奈(相良小6)
 4位 宮城 沙也加(牧之原小6)
 5位 浅井 美沙斗(萩間小6)
 8位 大井 日代里(勝間田小6)

- 女子 800m**
 3位 石田 梨瑠(川崎小6)
 3位 杉田 果穂(相良小6)
 5位 山本 薫(勝間田小6)

- 女子 80mH**
 2位 永石 華萌(細江小6)
 3位 峯野 七海(川崎小6)
 3位 菅原 杏(川崎小6)
 5位 橋本 和実(細江小6)
 5位 滝口 星波(川崎小6)
 8位 鈴木 野恵(牧之原小6)

- 女子 4×100mR (単学級)**
 1位 牧之原小 2位 萩間小
 3位 勝間田小 4位 菅山小
 5位 坂部小 6位 片浜小

- 女子 4×100mR (複数学級)**
 2位 細江小 3位 川崎小
 4位 相良小 5位 地頭方小

- 女子走高跳**
 4位 横田 菜緒(川崎小6)
 5位 鈴木 芹奈(萩間小6)
 6位 松浦 紫苑(萩間小6)
 7位 飯尾 由希(菅山小6)
 7位 遠藤 綾乃(牧之原小6)
 7位 水井 愛弓(細江小6)

- 女子走幅跳**
 2位 寺尾 麻佑(牧之原小6)
 3位 山本 梨夏(勝間田小6)
 5位 富田 夢加(菅山小6)
 6位 小塚 留菜(地頭方小6)

- 女子ボール投**
 1位 田崎 菜帆(細江小6)
 2位 森田 真衣(相良小6)
 3位 道下 真優(牧之原小6)
 4位 石川 麗華(川崎小6)
 8位 西井 咲納(細江小6)



- 男子 200m**
 2位 森木 大生(萩間小6)
 3位 村松 開人(牧之原小6)
 3位 片瀬 裕太(川崎小6)
 5位 藤原 恵祐(相良小6)
 6位 斎藤 洋斗(地頭方小6)
 8位 市川 友也(細江小6)

- 男子 4×100mR (単学級)**
 1位 萩間小 2位 牧之原小
 3位 坂部小 4位 菅山小
 5位 勝間田小 6位 片浜小

- 男子 4×100mR (複数学級)**
 2位 川崎小 5位 細江小
 6位 相良小 7位 地頭方小

- 男子 1500m**
 1位 加藤 李都(川崎小6)
 2位 大澤 和師(坂部小6)
 6位 本杉 陸人(勝間田小6)

- 男子 80mH**
 2位 大塚 惟央(川崎小6)
 5位 杉山 裕介(川崎小6)
 7位 吉添 修平(坂部小6)

- 男子走高跳**
 5位 大竹 壯弥(地頭方小6)
 7位 植田 斗真(地頭方小6)
 8位 内藤 魁清(川崎小6)
 8位 佐野 琉太(菅山小6)

- 男子走幅跳**
 3位 畑 辰之介(川崎小6)
 6位 高橋 トミー(川崎小6)

- 男子ボール投**
 1位 古地 耕大(細江小6)
 2位 高塚 涼大(地頭方小6)
 7位 名波 慶人(川崎小6)
 8位 谷澤 竜之介(細江小6)



スクールチャレンジャー

～特色ある校外活動のススメ～

相良中学校 壮大な10年プロジェクト 里山づくり

～ボランティアの方々と共に～

平成16年から相良中学校の3年生が、地元のボランティアグループの楽遊会の方々と共に里山づくりを行っています。菅ヶ谷地区の岩倉山周辺を整備してきました。遊歩道の整備、竹林の伐採、カブトムシ産卵場の整備、休憩所の設営などを行い、本年度で9年目を迎えます。



【 助言をいただいた共同作業 】

岩倉山の山頂からは、駿河湾や相良地区が一望できます。山頂には、数年前の3年生が製作したベンチやテーブルが置かれています。自分たちが汗を流して整備してきたことや先輩から引き継がれてきたことなどを知り、何年後かに再び訪れてみたいと感じるようになりました。生徒たちは、地域の自然の大切さや地域のよさを再確認することができました。

この計画を支えてきたのは、楽遊会の皆さんの献身的な支援です。機材や作業道具の準備から、仮設トイレの設置、手洗い用の水を山頂まで運搬するなど、生徒のためにやってくださいます。貴重な体験の場を提供くださった地域の方々とのつながりや支えに感謝し、生徒は地域の中で育っていきます。

感じるようになりました。生徒たちは、地域の自然の大切さや地域のよさを再確認することができました。



【 機材を使っでの整地作業 】

いきいき活動グループ紹介

12

生涯学習 遠州相良田沼塾

遠州相良田沼塾は、平成5年から開講され、今年で20年になりました。「学ぶ喜び」「教える喜び」を体験し生きがいづくり、人づくりの推進を図り、人と人との交流を深めることを目的としています。



【 牧之原女声コーラス 】

市民の中から講師を募り、4月に塾生を募集し、6月から1月まで教室を実施します。講座の内容は教養、文化、趣味等色々です。

本年度は80講座53名の講師で開講し、全塾生

1,019名の応募がありました。

毎年2月に、1年間の学習の成果を展示発表します。興味のある方は、是非見学にいらしてください。



【 焼きたての味は最高パン作り 】



【 ダンベル体操教室 】

生涯の花を咲かせるのはあなたです。「遠州相良田沼塾」は生きがいの場です。

(社会教育課)

インフォメーション

夏休み「理科の自由研究」相談会

5人の講師の先生が理科の自由研究について君たちの疑問、質問に何でも答え、アドバイスをしてくれます!

- 日程及び会場
第1弾 平成24年7月22日(日)～何を、どんなふうにやろうかな編～
 受付(午前)9時～11時30分 い～ら(福祉団体活動室)
 受付(午後)1時30分～4時 さざんか(ふれあいホール)
第2弾 平成24年8月19日(日)～まとめ方はどうすればいいのかな編～
 受付(午前)9時～11時30分 牧之原市史料館2階
 受付(午後)1時30分～4時 さざんか(ふれあいホール)
- 対象 小学生、中学生
 参加費 無料
 その他 事前予約の必要はありませんので開催時間内で都合の良い時にご自由にご来場ください。ただし、小学生は親子で参加してください。詳しくはHPをご覧ください
- お問い合わせ 山崎子ども教育振興財団(牧之原市教育総務課内)電話:53-2642

ジャクサ JAXA 職員による ドリーム教育講演会

毎年、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の職員を招き、「ドリーム教育講演会」を実施しています。なんと「はやぶさ」が地球に帰還する数年前から、牧之原市では「はやぶさ学習」を実施してきました。子どもたちが理科に興味を持ってくれたら良いなと思います。

こんにちは、社会教育委員です

私たちは牧之原市社会教育委員として、次の4つの役割を重点項目に掲げて活動しています。学校へも訪問しますので気軽に声を掛けてください。

住民と行政との橋渡し役
 学習ニーズを捉えるアンテナ役
 社会教育のコーディネーター
 社会教育団体への支援

委員	
むらまつ やすひろ 村松 泰博	おさき としみつ 尾崎 寿光
みやざき あつし 宮崎 純	なかむら ゆきひろ 中村 幸広
いしがみ ひとし 石神 齊	よこた たもん 横田 多門
なかだ しずこ 中田 静子	すずき としこ 鈴木 敏子
みずしま みゆき 水嶋みゆき	やまき ともこ 八木 友子
こやま しょうじ 小山 昭治	



【 委員長 鈴木一行 】



【 副委員長 渡邊美穂子 】

文化財の紹介 - 相良油田(県指定文化財) -

太平洋岸唯一の石油産地として知られた相良油田は、菅ヶ谷に主要鉱区があり、明治17(1884)年頃の最盛期には、年産721.6kl(ドラム缶3600本)の産油量を誇りました。油田の始まりは明治5(1872)年、村上正局が石油を発見し、翌明治6(1873)年に石坂周造が機械による本格的な採掘を行いました。良質で知られた相良油田ですが、戦後になると油井が次々と閉抗し、昭和30(1955)年頃、全ての事業を閉じました。(社会教育課)

「牧之原市の文化財」冊子 好評発売中

市教育委員会では、文化財をよく知っていただくため、「牧之原市の文化財」を発刊しました。文化財を写真と短い文書で紹介し、市内の小中学校へ配布しました。この冊子は、1冊1,000円で市史料館、社会教育課(相良庁舎3階)、文化センター仮事務所(榛原庁舎6階)、相良公民館のほか、市内の書店で販売しています。
 <お問い合わせ> 社会教育課 (電話)53-2646





わが校・わが園じまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



あおぞら保育園



【 こんなにとれたよ～ 】



【 ポテトください、はいどうぞ 】

「とれたー！」、園のじゃが芋畑では子どもたちの歓声が響き渡ります。広い畑ではありませんが、6月にはじゃが芋掘り、秋にはさつま芋掘り、夏野菜や冬野菜、あおぞら保育園では年間を通しての野菜作りや、収穫物を使ったクッキングが盛んです。また、畑以外にも、園の周りの自然いっぱいの山でよもぎ摘みをして、よもぎ団子を作ります。昨年度はしいたけの菌を木に打ち込みました。今年の秋にはしいたけの収穫も楽しみの一つです。自然の恵みからいただく収穫物は、育てる事・食べる事の楽しさ・美味しさだけではありません。

先日、園で獲れたじゃが芋を使い、年長児が塩茹でしたじゃが芋を、小さいお友だちが食べやすいように折り紙で作ったコップに詰め、ポテト屋さんを開店。「ください」「どうぞ」「ありがとう」「おいしいよ」。よちよち歩きの小さいお友だちからは「ありがとう」代わりのおじぎをもらい、子どもたちも思わず目を細めるなど、子ども同士の可愛らしいやり取りが見られました。

自然の恵みからいただく食育活動を通し、0歳～5歳児が生活する保育所ならではの異年齢の触れ合い、触れ合う楽しさから豊かな心を育てていま

静波保育園

平成 24 年度から指定管理者学校法人 榛原学園の管理運営でスタートしました。

自慢は、平成 21 年に新築された広くて明るい、地震が来ても大丈夫な安心安全な園舎です。そして、経験豊かな保育士とアイデアいっぱいの若い保育士が、笑顔で働いていることです。園目標の“思いやりのある子を育てよう”と挨拶に心がけています。

仕事に出掛けるお母さんに「行ってらっしゃい」「ママお仕事頑張ってるね」と子どもと一緒に見送ります。そして帰って来た時は、「お帰り も頑張ったよ」と一緒に迎えます。親と子、子どもと先生、ともだち同士、声を掛け合い挨拶

をする。日々の繰り返しの中で育つ思いやりを大切にしています。

基本理念の“心豊かにたくましく”を育てるため、近くの桜満開の勝間田川の土手やあじさいの花が美しい秋葉山へ散歩に出掛け、草花や虫を探して遊んで来ます。

保護者の協力と畑に負けないプランターでの野菜栽培を行い、食育クッキングを積極的に取り入れて元気いっぱい過ごしています。

静波保育園は、保育理念にも掲げる“子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園”をめざします。



【 広く明るいホールで子どものつどい 】



【 野菜を食べて丈夫な身体づくり 】

編集後記

子どもたちはもうすぐ夏休みを迎えます。学校が長い休みになるこの期間、どう過ごすかは人それぞれでしょう。普段できない体験をしてみたり、スポーツや文化活動などにいつも以上に打ち込んだりできるのがこの時期です。特に何もしないでダラダラしてた...なんて過ごし方はあまりにももったいないです。

何か一つでもいいから、普段できないことをやり遂げてください。

(編集委員長 澤田 衛)

ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会

電話：53 - 2642 FAX：53 - 2657

〒421 - 0592 牧之原市相良 275

E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp